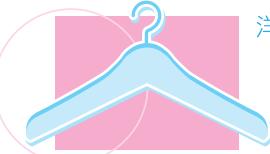


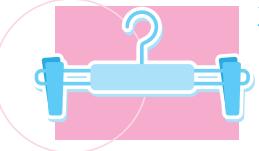
制服と一緒に揃えておきたい お手入れGOODS



洋服ハンガー
服のサイズに合ったハンガーを選びましょう。型くずれを防ぐには、厚みのあるものがおすすめです。



洋服ブラシ
様々な毛の種類(豚、ナイロン)がありますが、ブラシは硬すぎず適度に毛にコシがあるものがおすすめです。



スカートハンガー
スカートもハンガーにかけてシワを伸ばしておきましょう。TOMBOOWのスカートにはハンガーに掛けておくためのループがついています。



アイロン
アイロンはスチームとドライの切替え機能が付いた、温度設定(低・中・高など)のできるものを使いやすいです。

毎日のお手入れ

洋服のお手入れの基本を制服から学びましょう。

制服をキレイに保つ3つのポイント

01 脱いだ制服はすぐにハンガーにかける
シワや型くずれを防ぎます。
制服をかけておく場所を用意。



02 ブラシをかける
制服は以外と土ほこりやチョークなど、色々なホコリがつきやすいものです。



03 ポケットの中を空に
カラ
ポケットに重いものをいれたままにすると、型くずれの原因になります。



POINT 雨で濡れてしまったら

★制服を雨に濡れたままにしておくと、シミやカビの原因になることがあります。軽く濡れた程度でしたらタオル等で表面の水気をとり、ハンガーにかけて風通しの良いところに陰干しして下さい。

知っておこう 洗濯絵表示



制服の内側に品質表示がついています。これには材質や洗濯方法に関する注意事項がわかりやすく絵で表示されています。
※クリーニングの際に必要となりますので、切り取ったりしないようにして下さい。

水洗い	洗濯機洗い		
	<p>弱 30 中性</p> <ul style="list-style-type: none"> 水流の強さ …「弱」の場合、弱水流使用。 水温 …「30」の場合、30°Cが上限。 洗剤の種類 …「中性」の場合、中性洗剤(おしゃれ着用洗剤)使用。 		
手洗い	手洗い	手洗い不可	手洗い不可
	<p>手洗イ 30</p> <ul style="list-style-type: none"> 水温 …「30」の場合、30°Cが上限。 		<p>手洗いできません。</p>
クリーニング	ドライクリーニング		
	<p>ドライ セキユ系</p> <ul style="list-style-type: none"> 溶剤の種類 この場合、ドライクリーニングで使用される有機溶剤が石油系のものになります。 		<p>ドライクリーニング不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ドライクリーニングできません。
漂白	塩素系漂白剤使用可能		
	<p>エンソ サラシ</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩素系漂白剤による漂白することができます。 		<p>塩素系漂白剤使用不可</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩素系漂白剤による漂白はできません。
絞りかた	脱水		
	<p>ヨク ワク</p> <ul style="list-style-type: none"> 脱水強度 この場合、遠心脱水(洗濯機脱水)は30~60秒程度。手絞りの場合は弱く。 		<p>脱水不可</p> <ul style="list-style-type: none"> 脱水できません。
干しかた	つり干し・日陰干し	平干し	平干し
	<p>干し方 … この場合は、つり干し。 干す場所 … この場合は、風通しの良い日陰。</p>		<p>干し方 … この場合は、平干し。 平らな場所に広げて干して下さい。</p>
アイロン	アイロン掛け		
	<p>温度設定 … この場合は、中温。 低 = 80~120°C 中 = 140~160°C 高 = 180~210°C</p>		<p>アイロン掛け あて布</p> <ul style="list-style-type: none"> この場合は、あて布使用。

家庭での洗濯のしかた

制服には家庭洗濯できるものとできないものがあります。ここでは家庭洗濯できる制服の洗濯のしかたについてご説明します。但し特殊な素材や付属の付いているものは家庭洗濯できません。詳しくは制服についている洗濯表示をご確認下さい。

洗濯前のチェック

- 01 鈎がとれかかったり、ほつれていないかチェック。

そのまま洗濯すると鈎を紛失したり、ほつれが大きくなる場合がありますので、直してから洗濯するようにしましょう。

- 02 シミの有無をチェック。

汚れのひどいシミは洗濯前のケアが大切です。→ P.4 “シミが付いてしまった” 参照

- 03 ポケットの中のホコリをはらい出す。



- 04 ファスナーやボタンを閉じる。

- 05 水は30℃以下の水を使用。

生地が劣化する場合がありますので、お風呂の残り湯など温度の高いお湯は使わないで下さい。

- 06 洗剤は「中性洗剤」を使用。

一般的に「ウール・おしゃれ着用洗剤」や「ドライマーク衣料用洗剤」と表示して販売されています。
通常の合成洗剤はアルカリ性です。

! 塩素系漂白剤は使用できません。

- 07 **洗濯機洗いの場合**

洗濯ネットに入れ、制服だけ洗濯。
糸くず等が付着するのを防ぐためです。

手洗いの場合

制服のみで洗濯。
生地同士がこすれて、生地が痛むのと、糸くず等が付着するのを防ぐためです。

- 08 「ドライ」「手洗い」など標準よりも弱水流のコースを選択。

家電メーカーによりコース表現が異なります。
詳しくは洗濯機の説明書をご確認下さい。

上からやさしく押し洗い。

きつく揉んだり生地同士をこすり合わせたりすると、
生地が毛羽立って毛玉の原因になります。

- 09 脱水は30~60秒。

長時間の脱水は型くずれやシワの原因になる
場合があります。制服を長時間濡れたまま
放置しないで下さい。

押し洗いの要領でやさしく まんべんなく押しながら脱水。

制服をねじってしぶると、生地に負担がかかり、
シワや型くずれの原因になります。

- 10 軽くシワをのばして形を整え、ハンガーにかけて陰干し。

風通しのよい日陰に吊ります。スカートの内側は乾きにくいので、裏返して干します。



注意 制服は乾燥機で乾燥させないで下さい。

タンブラー乾燥機での加熱乾燥は、生地の劣化、芯地の縮みなど、型くずれの原因になる
ため、使用しないで下さい。特に羊毛(ウール)は、デリケートな天然繊維で熱に弱く、縮ん
だり型くずれる場合があります。くれぐれも乾燥機の使用はお避け下さい。

部分的に付いた汚れを家庭で落とすための裏ワザ

シミが付いてしまったら

「すばやく」「こすらない」が基本です

★ シミ汚れは時間がたつほど、取れにくくなります。できるだけ速く対処しましょう。★

シミ抜きの手順

- ① シミの付いた部分にタオルやハンカチなどのあて布を当てる。

ここがポイント!!
- ② シミが付いた布の反対側からブラシや綿棒に液体を付けてたたく。
あまり強くこすり過ぎて生地を傷めないように注意!
※シミの種類によって、「水」or「溶剤」or「洗剤液」を使い分けましょう。
- ③ シミをあて布のタオルやハンカチに移し出す。
- ④ シミ抜きのあとは、洗濯表示に沿って洗濯をしましょう。
※それでもシミが取れないときや衣服全体に汚れがついているときは、クリーニング専門店とご相談下さい。



シミ汚れの種類別処理方法

シミ汚れの種類	★ ステップ1 ★	★ ステップ2 ★
しょう油、ソース、果汁、 ケチャップ、カレー、 コーヒー、紅茶、日本茶	水または ぬるま湯でたたく	中性洗剤水溶液でたたく
血 液	水でたたく	中性洗剤水溶液でたたく
牛乳、バター、衿あか、 口紅、ファンデーション、 ボールペン、クレヨン、 機械油	ベンジンでたたく	中性洗剤水溶液でたたく
チューインガム	冷やしてけずりとる	ベンジンでたたく
墨 汁	ご飯に石けんを 混ぜたものでもみだす	石けんで洗う
泥はね	乾かないうちに 中性洗剤水溶液でたたく	よく乾かして ブラシではらう
カ ピ	よく乾かして ブラシではらう	中性洗剤水溶液で もみ洗いする

